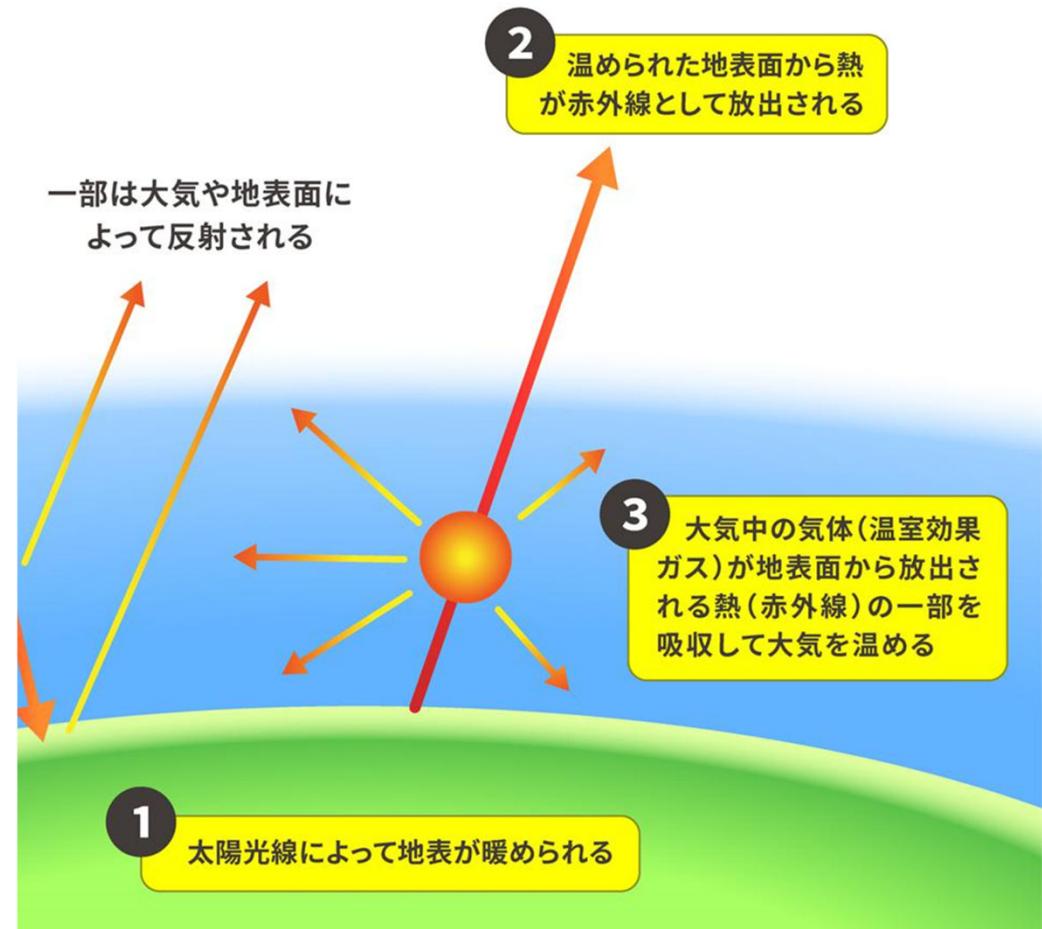


地球温暖化対策と 私たちが提案する職業

～太陽光パネルの普及～

地球温暖化の影響

- ・氷河の融解や海面水位の変化
- ・洪水や干ばつなどの影響
- ・陸上や海の生態系への影響
- ・食料生産や健康など人間への影響
- ・台風の巨大化
- ・森林火災の増加
- ・伝染病の増加





地球温暖化を 止めるには

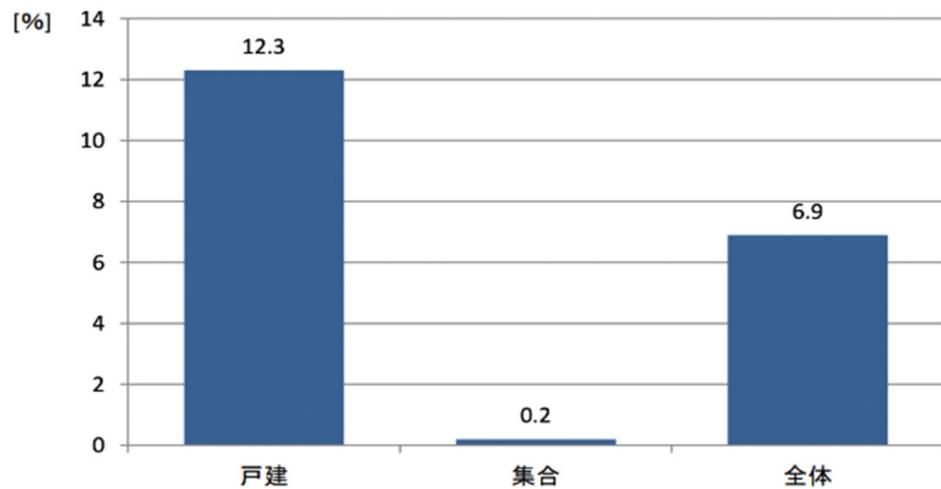
- ・再生可能エネルギーの利用を増加させる
- ・自然環境の保護
- ・二酸化炭素の排出の抑制
- ・再生可能エネルギーを身近なものにする

これらが課題となると考える

太陽光パネルを取り入れている割合

2020年度末時点で全世帯のうち太陽光発電システムを搭載している住宅は6.9%であったという。

また資料から、住宅用太陽光発電システムの導入件数が下落しつつあることが見てとれる。これからも住宅用太陽光発電システムの導入件数もさらに減っていく可能性があると考えられる。



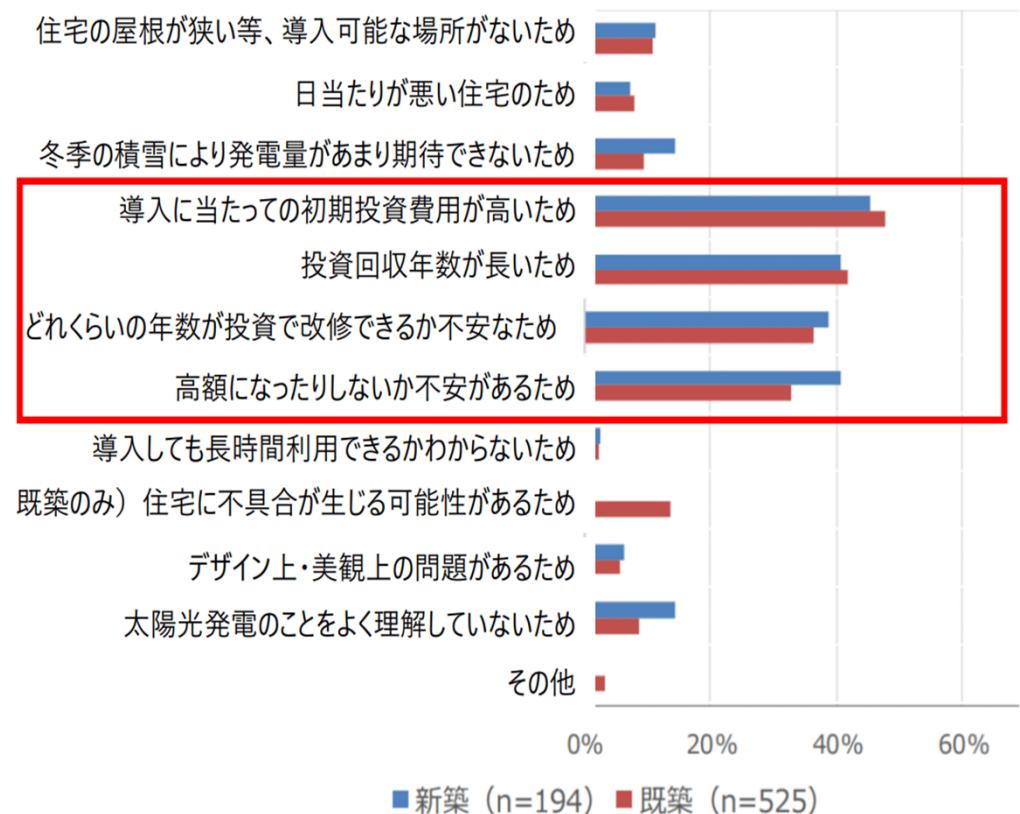
(建て方別太陽光発電システムの使用率。出典：環境省)



(出典：太陽光発電協会 経済産業省 第71回 調達価格等算定委員会 資料1)

太陽光パネルが取り入れられている割合が低いとされる原因

■PVの導入を希望しない理由



太陽光パネルの住宅用の設置費用相場は80万～133万円であると言われている。

また、積雪は日本ならではの条件であるが、蓄電ができるものもある。デザインに関しては日のよく当たる位置とそうでない位置も関わってくる。

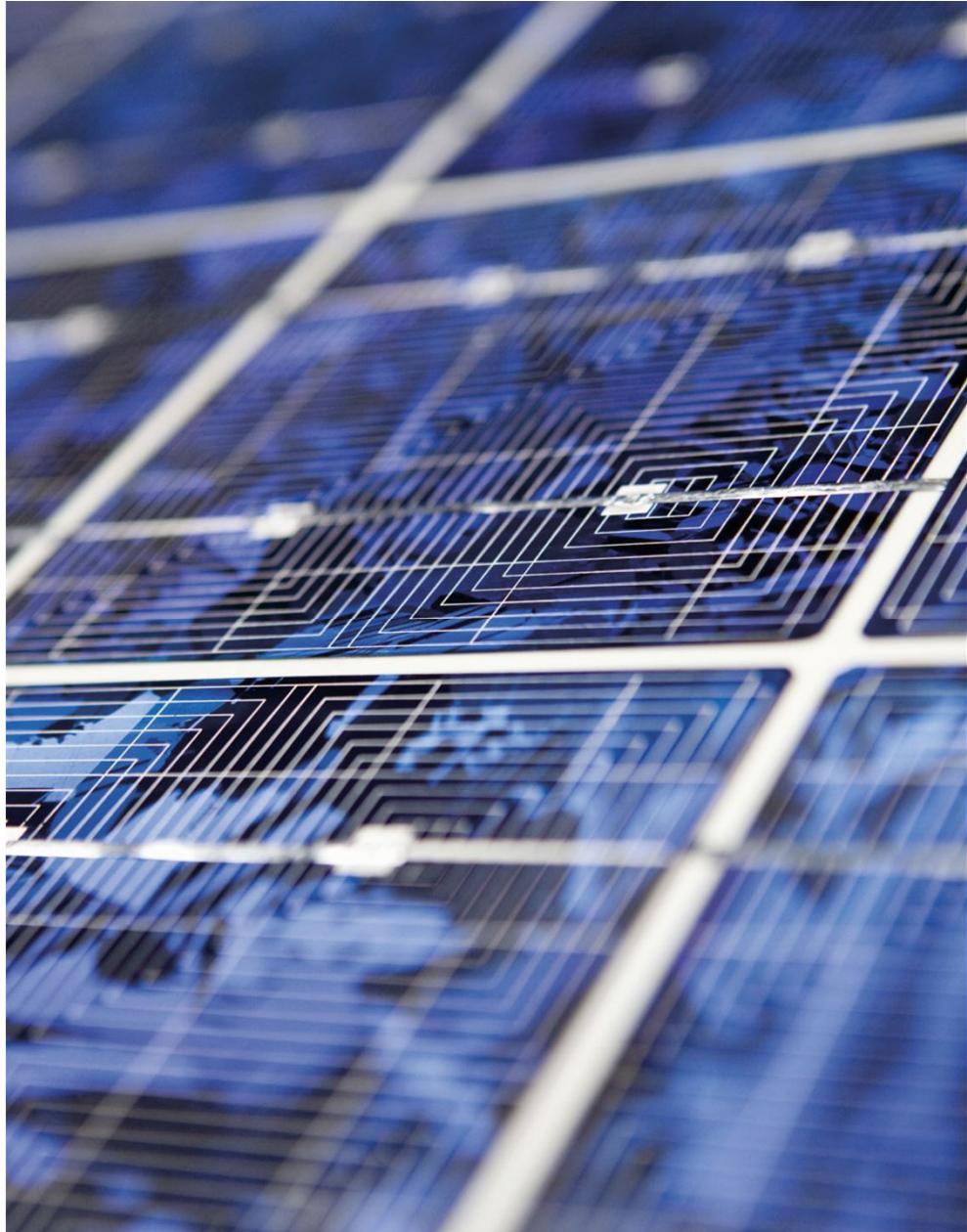
もっと安く、生活のになじみやすくすることでの普及が高まるのではないか。

[https://solarjournal.jp/renewable/45718/#:~:text="](https://solarjournal.jp/renewable/45718/#:~:text=)

2024年7月31日

太陽光パネルのメリット

- 1, 光熱費の80%削減（太陽光発電＋オール電化の場合）
- 2, 余った電気は貯蓄かつ売ることが可能
- 3, カラー電気モニターで電気の使用量が可視化
→省エネへの意識が上がる
- 4, 「自立発電」のため災害時にも使える
- 5, 断熱効果がある
- 6, 蓄電池で夜間や停電時でも電気が利用できる



太陽光パネルのデメリット

1. 太陽光パネルの製造で排出するCO2

→しかし、太陽光発電が1~3年
稼働することで回収可能と
言われている

2. 太陽光パネルの廃棄物処理

→廃棄には 1kw約2万円のコストがかかり捨てる
出来ないという理由で放置・不法投棄がされて
いる。



太陽光パネルを多くの人に取り入れてもらうために 提案する条件

- ・費用を安くする。
- ・アフターフォロー
- ・廃棄問題の解決
- ・小さくても発電量が多い太陽光パネル

小型太陽子パネルの現状



キャンプや災害時の非常用発電機としてのものはある



オール電化に対応できる電量を貯蓄できるものはまだ開発されていない。

私たちが提案する職業

利用者の負担を軽減するために、小さい太陽光パネルを開発することで、材料費・廃棄物処理費を抑えることができ、安く提供するサービスを可能にする職業です。

また、アフターフォローを充実させることで、環境を汚さず、地球にやさしい私たちに身近な太陽光パネルの実現ができると考えます。